

◎第12回理事会(38.5.8)出席者:藤井会長,山本副会長,末森専務理事,ほか理事8名。A.協議事項:1)定例常議員会提出議題について。2)異形鉄筋の試験受託について。3)土木賞委員委嘱について。B.報告事項:1)会員入退会。2)刊行物申込状況。

◎定例常議員会(38.5.11)出席者:藤井会長,ほか常議員40名(委任状をふくむ)。議事 大石,田中,末森(専務)の各理事より説明があった。議案 1)38年度改選理事の投票の結果,つぎのとおり決定した。

会 長 山 本 三 郎
副 会 長 好 井 宏 海
専務理事 羽 田 巖
理 事 江 口 馨
" 嶋 祐 之
" 佐々木 正 久
" 内 田 隆 滋
" 前 沢 肥

2)土木学会規則改正について,つぎのとおり承認された。

社団法人 土木学会規則改正

この学会の運営に関しては,定款に定めるもののほか,この規則の定めるところによる。

第1章 支 部

(支部の名称および所在地)

第1条 支部の名称および所在地は,つぎのとおりとする。

1. 北海道支部 北海道 札幌市
2. 東北支部 宮城県 仙台市
3. 関東支部 東京都 新宿区
4. 中部支部 愛知県 名古屋市
5. 関西支部 大阪府 大阪市
6. 中国四国支部 広島県 広島市
7. 西部支部 福岡県 福岡市

(地区の範囲)

第2条 地区の範囲は,つぎのとおりとする。

1. 北海道地区 北海道一円
2. 東北地区 青森県,岩手県,宮城県,秋田県,山形県,福島県
3. 関東地区 茨城県,栃木県,群馬県,埼玉県,千葉県,東京都,神奈川県,新潟県,山梨県
4. 中部地区 富山県,石川県,長野県,岐阜県,静岡県,愛知県,三重県

5. 関西地区 福井県,滋賀県,京都府,大阪府,兵庫県,奈良県,和歌山県
6. 中国四国地区 鳥取県,島根県,岡山県,広島県,山口県(下関市を除く),徳島県,香川県,愛媛県,高知県
7. 西部地区 九州一円および山口県下関市

第2章 会 員

(入会手続)

第3条 会員になるには所定の入会申込書に,会費を添えて事務局に提出するものとする。

(会員資格の取得)

第4条 会員は,その資格を入会通知書の発行日から取得する。

(学生会員から正会員に資格変更)

第5条 学生会員は,卒業と同時に正会員となる。

(会員の所属)

第6条 会員は,つぎの地区別によって支部に所属する。

1. 在職者は,勤務箇所所在地の地区
2. 非在職者は,現在所所在地
3. 学生会員は,学校所在地
4. 団体会員は,事務所所在地の地区
5. 海外居住者は,関東地区

(特別会員の権利)

第7条 特別会員は,その種別によりつぎの権利を有する。

特 級	正会員	5名分
1級A	同	4名分
1級B	同	3名分
1級C	同	2名分
1級D	同	1名分
2 級	同	1名分

第3章 会 費

(納 付)

第8条 会費は,前納とする。ただし特別の事情があるときは,年2回に分納することができる。

2 年度途中で入会または資格を変更したものは,その翌月から資格に相当する会費を納めなければならない。

(会 費)

第9条 会費は,会員の種別に応じて,つぎのとおりとする。

種 別	年 額
正 会 員 (沖縄をふくむ)	1800 円
同 (外地会員)	US 8ドル
学 生 会 員 (沖縄をふくむ)	900 円
同 (外地会員)	US 4ドル

特別会員

特 級	100 000 円以上
1 級 A	70 000 円
1 級 B	40 000 円
1 級 C	20 000 円
1 級 D	10 000 円
2 級 (学校および図書館)	5 000 円

(会費の免除)

第10条 賛助会員,名誉会員は,会費を免除する。

2 正会員で,一時に20カ年分の会費を納めた者,または継続して40年を越えた者は,以後免除する。

第4章 選 挙

(理事および監事の選任方法)

第11条 理事および監事の選任は,選挙による。

(評議員の選任方法)

第12条 評議員の選任は,各支部所属の正会員,特別会員,賛助会員および名誉会員の選挙による。

(選挙の告示)

第13条 選挙に関する告示は,土木学会誌の会告によって公示する。

(選挙の管理)

第14条 選挙に関する事務は,理事,監事については,理事会が管理する。

2 評議員については,支部が管理する。

3 選挙は毎年通常総会前に終了し,支部管理者は,評議員選挙の結果を会長に報告する。

(理事の被選挙者定数)

第15条 理事の被選挙者定数は,評議員会で定める。

(評議員の被選挙者定数)

第16条 評議員の被選挙者定数は,その年の3月31日現在における各支部所属の会員200名につき1名の割合とし,端数は4捨5入とする。

(投 票)

第17条 理事,監事および評議員の投票は,つぎによる。

1. 理事および監事の投票は,評議員が行なう。

2. 評議員の投票は,正会員,特別会員,賛助会員および名誉会員によって地区ごとに行なう。

3. 投票は,正規の投票用紙を用い,連記無記名で行なう。

(理事,監事および評議員の補充)

第18条 理事,監事および評議員の補充は,つぎによる。

1. 理事および監事は,補欠選挙による。

2. 評議員は、その地区の次点者をもってあてる。

(投票の効力)

第19条 つぎの各号に該当する投票は、無効とする。

1. 正規の用紙を用いないもの
2. 定数を越えて被選挙者名を記載したものである
3. 氏名のほか、他事を記載したものである。ただし、職業、身分、住所または、敬称の類を記入したものは、この限りでない。

(当選者の決定)

第20条 有効得票数の多い者から順次に定数に達するまでを当選者と定める。

- 2 得票数が同数の場合は、年長の順で決定する。

(当選後の手続)

第21条 当選者が決定したときは、会長は、ただちに就任手続きをすると同時に選挙の結果を理事、監事および評議員に通知し、かつ通常総会に報告する。

第5章 会 務

(理事の担当)

第22条 この学会の会務を執行するため総務、企画、経理、編集出版および調査研究の5部門を置き、会長および副会長以外の理事の中から担当理事を定める。

(総務部門)

第23条 総務部門担当理事は、つぎの会務を処理する。

1. 官公署、公共企業体および団体との連絡に関する事
2. 国際会議に関する事
3. 定款、規則、制度、内規その他法規に関する事
4. 総会、評議員会および理事会に関する事
5. 会員の入退会に関する事
6. 関係委員会に関する事
7. その他、他部に属さないこと

(企画部門)

第24条 企画部門担当理事は、つぎの会務を処理する。

1. 学会運営の企画に関する事
2. 広報に関する事
3. 関係委員会に関する事

(経理部門)

第25条 経理部門担当理事は、つぎの会務を処理する。

1. 予算、決算に関する事
2. 基本財産、運用財産の管理に関する事

3. 関係委員会に関する事

(編集出版部門)

第26条 編集出版部門担当理事は、つぎの会務を処理する。

1. 土木学会誌、土木学会論文集、その他刊行物の編集出版に関する事
2. 出版物の頒布に関する事
3. 関係委員会に関する事

(調査研究部門)

第27条 調査研究部門担当理事は、つぎの会務を処理する。

1. 学術および技術の調査に関する事
2. 規格、標準等に関する事
3. 教育に関する事
4. 研究成果の発表に関する事
5. 関係委員会に関する事

(担当部門)

第28条 理事の担当部門は、理事会で定める。

(専務理事の担当)

第29条 専務理事は、各部門を担当するほか各部門の連絡調整にあたる。

- 2 専務理事は、専務局を統括して、理事会から委任された会務を処理する。

(支部)

第30条 支部に関する規定は、支部ごとに支部長が定め、会長に提出する。

(委員会)

第31条 会務を執行するため必要あるときは、委員会を設けることができる。

- 2 委員会に関する規定は、会長が定める。

(事務局)

第32条 会務を執行するため事務局を設け、有給の職員および嘱託をおく。

- 2 事務局の職制および職務に関する事は理事会で定める。

第6章 表 彰

(土木賞)

第33条 土木工学に関する優秀な論文を発表し、または設計考案および施工技術にいちじるしい功績のあった者に対し土木賞を授与する。

(吉田賞)

第34条 コンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関する優秀な論文を発表し、または工事等に功績のあった者に対し吉田賞を授与する。

- 2 コンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関する研究に従事する者で、特に独創性と将来性に富む者に吉田研究奨励金を授与す

る。

(表彰)

第35条 前2条以外で土木工学または土木事業に特に功績のあった者を表彰することができる。

第7章 会 計

(事業計画および予算)

第36条 事業計画および予算は、会長が編成し、評議員会に提出する。

(事業報告および決算報告)

第37条 事業報告および決算報告は、会長が作成し、通常総会に提出する。

(剰余金および欠損金)

第38条 決算に剰余金または欠損金を生じたときは、翌年度に繰越することができる。

(予算外の権利と義務)

第39条 予算で定めたものを除くほか、新たに義務の負担をなし、または、権利を放棄しようとするときは、理事会の承認を得なければならない。

- 2 借入金についても前項に同じ。ただしその会計年度内の収入をもって償還する一時仮入金を除く。

付 則

1. 文部省令(昭和27年6月16日)第14号に定められた規定は遵守する。
2. この規則施行前の会員の既得権は尊重する。
3. この規則は昭和 年 月 日から施行する。

- 3) 総会提出議案について：①昭和37年度事業報告について、②昭和37年度決算報告について、③土木学会定款改正案について、④名誉員の推挙について、⑤土木賞の授与について、⑥吉田賞および吉田研究奨励金の授与について、⑦土木学会規則改正報告の件、⑧新任理事の紹介。議案1)~8)まで承認。

◎委員の委嘱

- 1) 土木賞地区委員交代ならびに会員増加のための委員の委嘱。

東北地区

(新任) 多谷 虎男(東北大学)

(前任) 河上 房義

関東地区

(新任) 三島 慶三(通産省)

(前任) 三島 慶三

(新任) 大石 勇(前田建設KK)

(前任) 岡本東一部

中部地区

(新任) 市原 松平(名古屋大学)

(前任) 小野 一良

関西地区

(新任) 松尾新一郎 (京都大学)
(前任) 米谷 栄二

西部地区

(新任) 篠原 謹爾 (九州大学)
(前任) 村上 正

増員 関東地区

(新任) 松井 達夫 (早稲田大学)

支部だより

◎北海道支部

(1) 37年度支部総会

1. 日 時: 1963年5月22日 13時より16時30分まで

2. 場 所: 札幌市合同庁舎6階大ホール

3. 出席者: 約40名

4. 総合次第

- (1) 開会の辞
- (2) 支部長挨拶 (代理板倉商議員)
- (3) 議長選出 (司会者一任により板倉忠三氏議長となる)
- (4) 議長挨拶
- (5) 本部よりの祝電披露
- (6) 昭和37年度事業ならびに会計報告 (穴釜幹事長より報告)
- (7) 会計監査報告 (小池監査委員)
- (8) 定款, 規則, 支部規定の改正について (板倉商議員により経過報告)
- (9) 支部奨励賞受賞者発表 (北大酒井委員より選考経過説明)
- (10) 支部奨励賞授与 (受賞者は開発局道路建設課外崎倫会員, および土木試験所近藤俣郎会員の2名)
- (11) 新支部長選出 (選出委員5氏により開発局最上戸城司が支部長に選出)
- (12) 新幹事長および商議員, 地区常議員選出
- (13) 新支部長, 新幹事長挨拶
- (14) 閉会の辞 (終会后映画上映, 午後4時30分散会)

(2) 昭和38年度 土木学会北海道支部役員名簿

支部長 上戸 城 司 (北海道開発局長)
幹事長 林 正 道 (土木試験所 構造研究室長)
商議員 小野 早 笛 (三井建設KK札幌支店次長)
〃 古谷 浩 三 (土木試験所長)
〃 市 瀬 勲 (開発局建設部河川工

事課長)
商議員 堂垣内 尚弘 (開発局建設部長)
〃 当 根 清 一 (札幌工業KK土木部長)
〃 池田 英三郎 (北電土木部工事課長)
〃 三 成 慶 (北土建設KK社長)
〃 笠原 篤 三 (KK地崎組 土木部長)
〃 長 田 末 治 (札幌土木現業所長)
〃 石 下 力 也 (国鉄札幌工務局次長)
〃 小池 竜 夫 (北電土木部 計画課長)
〃 岸 力 (北大工学部教授)
〃 榎 本 万 里 (鹿島建設KK札幌支店次長)
〃 中 村 作 太 郎 (室蘭工業大学教授)
〃 小 山 道 義 (土木試験所道路研究室長)
〃 板 倉 忠 三 (北大工学部教授)
〃 穴 釜 正 吉 (開発局港湾部長)
〃 中 村 稔 (道・土木部道路課長)
〃 白 川 秀 一 (道・土木部港湾課長)
〃 長 谷 川 亘 (国鉄道支社調査役)
〃 赤 井 醇 (札幌市建設局長)
〃 小 原 福 二 (大成建設KK札幌支店次長)
〃 伊 福 部 宗 夫 (北海学園大学教授)

地区常議員
林 正 道 (幹事長)
〃 板 倉 忠 三 (商議員)
〃 伊 福 部 宗 夫 (〃)

◎関西支部

(1) 学生のための映画会 (第1回)

(立命館大学 38.4.23)

上映映画: 大阪環状線計画編・工事編, 道路と生活, 高速道路, 黒部峡谷, KSK 振動くいち機, 合成桁橋実験, セメント工場, セメントの使い方

参加者: 208名

(2) 第4回商議員会 (中央電気倶楽部 38.5.10)

出席者: 商議員10名, 常議員2名, 矢野支部長, 米谷幹事長, ほか幹事9名。

(3) 第38回通常総会 (中央電気倶楽部 38.5.10)

参加者: 60名

① 昭和37年度事業報告および会計報告

② 新役員紹介

支部長 (昭和38年度)

石田 聖 (鹿島建設KK大阪支店次長)

商議員 (昭和38, 39年度)

岩城 康雄 (汽車製造KK大阪製作所橋梁技術部設計第一課長)
岩佐 義朗 (京都大学助教授工学部)
大堀 玄三 (京都府土木建築部道路課長)
川崎 健次 (KK鴻池組東海道路幹線中島高架橋事業場主任)
河野 正一 (近畿地建大和工事事務所長)
北村 正也 (阪神高速道路公団調査課長)
谷垣登志郎 (兵庫県土木建築部道路課長)
谷本 喜一 (神戸大学教授工学部)
玉井 摂郎 (関西電力KK建設部水力計画課副課長)
富山 種男 (住友建設KK技術研究所技術部次長)
中埜 肇 (阪神電気鉄道KK工務部土木課長)
中本 正則 (和歌山県土木部砂防利水課長)
錦戸 善吉 (福井県土木部河川課長)
牧野 文雄 (大阪府土木部道路課長)
八木 建二 (中央ビー・エス・コンクリート工業KK代表取締役)
山口 寿 (滋賀県土木部計画課長)

常議員 (昭和38, 39年度)
石田 聖 (鹿島建設KK大阪支店次長)
今岡 鶴吉 (大阪市交通局長)
佐藤 肇 (第三港湾建設局長)
橋 善雄 (大阪市立大学教授工学部)

(4) 総会懇親会 (中央電気倶楽部 38.5.10)
参加者: 40名 (内招待関係11名)
参加費: 300円

(5) 昭和38年度 幹事長および幹事 (38.5.10 委嘱)

幹事長:
松尾新一郎 (京都大学教授工学部)

幹 事:
赤尾 親助 (大阪大学助教授工学部)
赤野 豊 (KK大林組土木部工務部長)
新井 敬造 (ビー・シー橋梁KK代表取締役)
石原 安雄 (京都大学教授防災研究所)
岩崎 善吾 (KK近畿復建事務所常務取締役)
大平 括也 (国鉄大阪工務局土木課長)
小笠原二郎 (兵庫県土木建築部計画課長)
小仲 次郎 (KK栗本鉄工所営業部長)
鈴木 秀夫 (大阪市水道局工業用水道部計画課長)
西村 昭 (神戸大学助教授工学部)
藤村 実 (大阪府土木部河川課主幹)
三上 恒 (佐伯建設工業KK工務部長)
水野 俊一 (大阪市立大学助教授工学部)
三谷 健 (近畿地方建設局企画室長)
宮田 裕 (大成建設KK大阪支店次長)

昭和38年度土木学会誌編集委員

委員長	八十島 義之助				委員兼幹事 松本茂男	
委員	石井文雄 斉藤俊彦 新谷洋二 森重雄	梅田卓郎 城野忠雄 原田信昭 森本茂男	遠藤篤康 千秋信一 藤井喬 湯浅昭	大山忠 土屋昭 町田富士夫 渡辺隆	後藤 績 奈良部 俊雄 三池 亮次	佐藤尚徳 南部 繁春 森 麟
地方委員	(北海道支部) 菅原照雄 河野文弘	(東北支部) 松本順一郎 岩崎敏夫	(中部支部) 酒井清太郎 増田重臣	(関西支部) 赤尾親助 西村 昭	(中四支部) 長尾 満	(西部支部) 山内豊聡 長友文昭

**編 集
後 記**

今月は大会特集号として総会関係の記事を中心に編集しました。今年の大会の特色は、総会と年次学術講演会を切りはなし、24日の午後総会、つづいて会長講演、25日の午前総合講演、午後から26日にかけて年次学術講演会が10会場において行なわれました。総合講演・年次学術講演会には婦人を混えて多くの方々が出席されるのに反し、総会に出席される方が少ないのはちょっと物さびしい気がします。

編集委員会では大会に出席されない多くの方々に、よりよく大会の模様をわかっていたくためいろいろ検討し、今回初の試みとして、24日の総会終了後京都国際ホテルに土木賞・吉田賞を受賞された方々にお集りいただき受賞の感想・研究の動

機などいろいろ語っていただき、それをもとに編集部でとりまとめ受賞者の横顔として紹介しました。また例年の年次学術講演会一般報告のほか、それぞれの分野をとりまとめ総括報告として全般的な批評を書いていただきましたかいかげでしょうか。また、今月より海外ニュースと題して広く世界の土木工事を紹介することにいたしましたのでご期待下さい。よりよい会誌をつくるためには読者と編集者が一体とならなければなりません。毎月毎月の会誌をご覧になってお気づきの点がありましたらすぐ指摘いただくよう、モニター制なども考えております。

× × ×

6月5日おりから降りしきる雨を
ついで黒四ダムの完工式が行なわれ
ました。編集部ではこの世紀の大工

事の完工式に招かれ、いろいろ取材する機会を得ましたので口絵写真に現代の万里の長城といわれ脚光をあびている美しい黒四ダムを紹介するとともに、「黒四を現地にみる」と題した一文を登載しました。われわれ編集部も予算のゆるす範囲で大いに機動性をもたせ、現地取材にあたり、現場のなまの声を会誌に反映させるべく努力をしています。それぞれの現場にあるいろいろのなまのデータをコピーしてお送りいただければ、とりまとめてニュース欄、その他に紹介することも可能ですのでどしどしお送り下さるようお願いいたします。

なお、今月号は増大号につき発行が遅れたことをお詫び申し上げます。

【事務局編集課 石塚・記】

会 員 入 退 会 に つ い て (昭和 38.5.1~5.31)

入	会	534名(正128学399特1.B1特1.C1特1.D4特2.1)
復	活	7名(正)
退	会	47名(正45特1.C2)
死	亡	1名(正)
転	格	13名 正→名誉10 学→正2 特1.C→特1.B1

特 別 員 の 入 退 会

○入	会		
昭和 38.5.31	特 1.B	日本道路KK北海道支店	札幌市水車町4丁目 52-24
〃	5.1	特 1.C アサノポールKK	東京都千代田区大手町 1-4 (大手町ビル) 日本セメントKK内
〃	5.9	特 1.D 三重県四日市港務局	三重県四日市市千歳町 9番地
〃	〃	〃 KKオーム社	東京都千代田区神田錦町 3-1
〃	5.16	特 1.D 建設省関東地方建設局江戸川工事事務所調査第1課	千葉県野田市宮崎 134
〃	5.30	〃 九電フライアッシュKK	福岡市渡辺通2丁目一街区 82号
〃	5.13	特 2 東京大学工学部土木工学科図書室	東京都文京区本富士町 1番地
○退	会		
昭和 38.5.15	特 1.C	高尾建設KK	富山県上新川郡大山町本宮
〃	5.24	〃 住友建設KK静岡支店	静岡市日出町 1-2
○転	格		
昭和 38.5.31	特 1.C → 特 1.B	清水建設KK北海道支店	札幌市北1条西2丁目1番地

会 員 現 在 数 (昭和 38.5.31 現在)

名 誉	正 員	学 生 員	贊 助	特 級	特 1.A	特 1.B	特 1.C	特 1.D	特 2	計	(増)
55	14 228	1 447	30	18	15	40	192	282	25	16 330	(493)

正 員	土 永 英 憲 君	清水建設KK	昭和 37.7	死 去	28 才
-----	-----------	--------	---------	-----	------

昭和 38 年 7 月 10 日印刷

昭和 38 年 7 月 15 日発行

土木学会誌 第 48 卷 第 7 号

印 刷 者 大 沼 正 吉

印 刷 所 株 式 会 社 技 報 堂

東 京 都 港 区 赤 坂 溜 池 5 番 地

発 行 者 末 森 猛 雄

発 行 所 社 団 法 人 土 木 学 会

東 京 都 新 宿 区 四 谷 一 丁 目

定 価 200 円 (送 料 20 円)

振 替 東 京 16828 番

電 話 (351) 5130・5138・5139 番